

令和5年度 優良工事土木事務所長表彰受賞者

福井土木事務所

(五十音順)

| 工事名 | 河川・路線名 | 工事場所 | 事業者・代表者 | 工事概要 | 全景写真 | 評価内容 |
|----------------------------------|-----------------|--------------|---------------------|---|------|---|
| 道路改良工事 04-05-03-09 | 主要地方道 清水美山線 | 福井市 大土呂町 | ㈱岩佐土建 岩佐昭夫 | 施工延長 16.0m U型擁壁工 506.0m ³ | | 環境掲示板を設置し、騒音・振動が環境基準に達していないか確認しながら周辺環境に配慮し施工を行った。近接する大土呂駅舎や周辺道路の清掃、周辺道路の除雪など地元へ貢献した。また地元小学生を対象とした見学会を実施し、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。防犯カメラ設置によるリアルタイム管理を行い、事件・事故の防止に務めた。透明型枠の使用やびり割れ防止材の使用など主たる工事であるコンクリート構造物の品質向上を図った。また工事エリア内でのほか3社との工程調整と足場等仮設の工夫、3次元測量や残存型枠による施工の工夫、3Dモデルの作成により協議の円滑化を図るなど全体工期の短縮を図った。 |
| 交通安全施設工事 03-03-60-01 | 主要地方道 福井停車場線 | 福井市 大手3丁目 | ㈱シタニコンストラクト 谷口信二 | エレベーター土木工事 1式 | | 仮設トイレを目隠しボードで覆い、振動騒音計測器を設置し、景観に合わせた歩道照明を設置するなど、周辺に配慮した。地下道の異常時に対応するため、現場事務所を地下道閉塞カ所に配置した。地下道内で3D完成イメージ・進捗状況・建設業イメージアップ動画を発信した。チラシ等の定期的な配布により工事への理解と協力を得た。地下道案内図を修正し、定期的に地下道内および周辺の清掃を行った。雨水や湧水の地下道内への侵入を防ぐため、止水壁を構築した。不慮の事態に対応できるよう、Webカメラによる遠隔からの監視を行った。地下埋設物の座標管理や関係機関との調整により、事故なく接手を接続し矢板を圧入し、止水材や排水性マットを設置し、躯体への地下水の侵入を防いだ。 |
| 道路改良工事 04-05-03-01 | 主要地方道 清水美山線 | 福井市 半田町 | 大協建設㈱ 山本喬 | 施工延長16.4m U型擁壁工671.5m ³ | | 濁水の処理を3層式ノッチタンクにより実施した。工事や規制の情報をSNSで定期的に発信し、建設業のイメージアップを図った。地元大学生や就職希望者を対象とした現場見学会を実施した。飛来、落下物飛散防止ネットを足場に設置し、材料や資材の落下飛来を防止した。TOPCON社のLN-150（無線技術搭載型）電子黒板アプリ、Site Box出来形管理+Site Box配筋検査を導入し、施工管理の作業時間を短縮した。U型擁壁工の底板妻型枠に埋設型枠を使用することで、隣接区との施工期間の短縮を図り全体工期の短縮を図った。側壁の型枠に透明型枠を使用し、コンクリートの充填状況を目視確認しながら施工した。高機能養生シートを使用し夏季の湿潤養生を確実に行った。 |
| 福井駅周辺道路整備工事 04-03-60-03 | 主要地方道 福井停車場線 | 福井市 大手3丁目 | ㈱東部建設 松村純夫 | 施工延長80.1m 歩道工80.1m | | 既設上屋やタイル、花壇ブロックの古い汚れを除去し、受動電源盤基礎の上塗り左官仕上げを行うことで、新旧構造物の調和を図った。取壊し時に防音パネルによる騒音対策を行った。恐竜や北陸新幹線などがデザインされている規制看板を活用した。地域主催の美化活動に参加した。工事区間の店舗の除雪・排雪に協力した。工事看板にてインスタグラムのQRコードを掲載し、作業状況をSNSにて発信することで工事への理解を得た。段差の解消や歩行者マットの全面設置、LEDの仮設照明、取壊し時の飛散防止ネット使用等により、歩行者等の安全を確保した。照明柱・防護柵基礎の二次製品化や、緑化舗装のスリット部の後施工（全面打設⇒カッター⇒研り⇒補修）により工期を短縮した。 |
| 河川改修工事（大橋改修） 04-06-122・06H-01 | 一級河川七瀬川 | 福井市 八幡町 | ㈱友和組 渡邊宣矢 | 施工延長261.8m 護岸工146m ² 河道掘削3,000m ³ 旧橋撤去1式 | | 生分解性率の高い水性型枠剥離剤を使用し、河川の生態系への影響を抑制した。高圧洗浄車による排水路の清掃や伐木処理等地域の要望に対応した。広報誌の配布や清掃活動への参加により地域とのコミュニケーションを図った。水位計を設置し河川の水位上昇に対する安全を確保した。トラックスケールによりダンプの積載量を計測し、過積載を防止した。旧橋撤去において当初はワイヤーソー切断による分解と大型クローラクレーンによる撤去であったが、河川内を左岸・右岸に分けて仮締切を行い、締切内からバックホウで直接取り壊す方法に変更することで河川内へのコンクリート廃材の混入を防ぐとともに大幅な施工コスト削減と施工日数短縮を行った。 |
| 道路改良工事 03-01-04H-27 | 一般県道 福井森田丸岡線 | 福井市 中藤新保町 | ㈱道端組 道端健太 | 施工延長517.6m 舗装工（車道）3,970m ² 舗装工（歩道）1,650m ² | | ローラー等のアスファルト付着防止材として環境対応型アスファルト合材付着防止剤を使用し、環境保全に配慮した。近隣の保育園児を対象に現場見学会および大型建設機械の試乗体験会を開催した。また、発注者と地元受け業者で協力して建設機械の試乗会等も含めた新九頭竜橋お披露目会を行い、地元住民とコミュニケーションを図った。転落事故の可能性のある箇所には仮設の転落防止柵を設置し、災害防止に務めた。本工事はICT施工を採用し、下層路盤の施工は、マシンコントロールで実施し、下層路盤から表層までの各工種事に地上レーザーキャナーを用いて面管理での出来形管理を行った。その結果、出来形管理の精度が向上し、平坦性品質も向上した。 |
| 河川改修工事 03-06-22-06 | 一級河川足羽川 | 福井市 蔵作町 | 明和工業㈱ 土本謙吾 | 植生基材吹付工 3,790m ² | | 斜面上部には植生基材吹付工同等品の植生マットを使用する事で、施工進捗率を高めるとともに、施工中の降雨による濁水や土砂流出防止を図った。地元区長への挨拶や工事概要等を記載したチラシの回覧により工事への理解、協力を得た。緑化基盤材に県産品を活用した。法面のブルーシート養生を行い、冬季の積雪や雪解けによる土砂流出防止等に努めた。若手技術者の育成や4週8休の達成、車載式快道トイレを配置など、建設業の担い手確保に取組んだ。耐吸水性・視認性に優れたスーパーセーブロープの使用や、土砂崩れ検知装置の設置、カップリングカバーとジョイント部外れ防止ワイヤーの設置、VR技術を活用した安全教育訓練の実施により、労働災害の抑止に努めた。 |